

憲法を生かし、中小商工業の力で循環型経済・社会を

HP・メールニュース〈No.3〉

2013年7月19日



(左写真・倉敷美観地区中橋と考古館)

参議院選挙は文字通り一票を争う大激戦のまま、投票日を迎えようとしています。

安倍政権の暴走にストップをと奮闘されている全国のみなさん本当にご苦労様です。

この選挙が終わるといよいよ商工交流会を迎える暑い夏となります。参加組織を強めて頂きますようお願いいたします。企画も次第に具体化されてきていますので、商工新聞・HPなどでお知らせしていきます。

分科会への持ち込みレポート・報告もどしどし提出してください。

☆コンテンツ☆

- ・第12分科会 分権と自治のあり方
- ・パネルC「地域密着・家族経営」

◇第12分科会

「地域分権改革」と地方税財政～地方分権と道州制の問題を考える



「分権改革」は、「平成の大合併」「三位一体改革」「地域主権改革」など新自由主義的な諸政策の一環として進められてきました。

自公政権の下で財界主導の道州制論議が加速化しています。国の補助金や交付金が削減され、地方が切り捨てられる一方、市民の負担は拡大しています。行政サービスカット、人件費削減、生活保護の厳格化、国保料などの引き上げ、滞納整理機構による強制徴収などが、各地で問題になっています。

この分科会では、「地方税徴収の実態」や「児童手当差し押さえ問題」などいま起きている問題なども報告しあいながら、本来の分権と自治のあるべき方向を考えます。

助言者の川瀬憲子教授（写真）は、「小さくても輝く自治体」として隠岐の離島・海士町などの事例、復興交付金をめぐる被災地の問題など、具体的な事例を交えながら、基本的人権を保障し、住民主体の自治と参加に基づく民主的な分権型福祉社会について問題提起します。ご期待下さい。

◇パネル C…「いま、輝く
地域密着の家族経営」には
吹田民商の後藤孝夫さんが
登場

パネルCは、「家族経営」の
魅力や役割に光をあてる討論の
場です。数名の現役業者が登場
して、商売・人生・経営の秘訣
を語ります。

そのひとは商工新聞等で有名
になった大阪・吹田の暈や・後
藤孝夫さん（写真）です。



「斜陽産業」といわれる暈業界で、売上を伸ばしている青年業者です。どうすれば売上アップがはかれるか？その秘密は、事業計画書にあります。事業計画作成のノウハウやどのように方針・目標を実践しているのか、大いに語ってまいります。

その他にも同じく不況業種でありながら、印刷業界で活路を開き後継者づくりにも成功した業者、ユニークな多角経営をおこなっている業者などなどが登場します。

「目からうろこ」聴取者をうならせる発見がたくさんあるはずです。おなじみ吉田敬一先生がコーディネートを務めます。

***** 《参加申し込みについて》 *****

1、日時・開催場所

第1日：9月7日（土）12：00～ [会場：岡山市民会館・大ホール]

【全体会】基調報告／講演・三井逸友・嘉悦大学教授／特別報告

【パネルディスカッション】【憲法講座】15：00～18：00

A：新しい地域創造への挑戦—憲章・地域振興条例を力に一

B：実践・再生可能エネルギーによる循環型地域づくり

C：いま、輝く地域密着の家族経営

講座「憲法を考える」

参加者交流会（サン・ピーチOKAYAMA）18：30～参加費：5000円

第2日：9月8日（日）

9：00～15：00【分科会】14分科会〔岡山大学津島北キャンパス・文法経済学部棟〕

2、参加費 2日間：10,000円、学生・院生3,000円

問合せ・参加申込は民商・全商連まで

参加申込用紙・リーフレットをお送りします。参加費を添えて8月25日（木）までに実行委員会に申し込んでください。

全商連 ☎03-3987-4391 / 宿泊希望は、シモデンツーリスト ☎086-224-8811

第18回中小商工業全国交流・研究集会